

令和6年度 学校経営計画・学校評価				□4月4日提出		□10月3日提出		☑3月14日提出		学校番号		16		高知工業		高等学校		課程		定	
高知県の教育の基本理念		(1) 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく人 (2) 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人 (3) 多様な個性や生き方を互いに認め、尊重し、協働し合う人			基本方針		①予測困難な社会を生き抜く力を身につけるための教育の推進 ②多様な背景・特性・事情等を踏まえた包摂的な教育・支援の推進 ③生涯にわたって学ぶことができる環境づくりと活動・取組の推進 ④各種施策を総合的・計画的に推進するために必要な基礎的・基盤的な環境・体制等の整備						学校関係者評価(評価者:学校運営協議会員) 【学力の向上】 評価 【 A 】 学習の狙いや目標水準も高く設定していたが、数値目標を全て達成しており素晴らしい。特に、資格合格率が75%を達成していることは、学校や定時制の魅力につながっている。今後も、学力差が課題となっているが、個別指導等を充実させ取り組んでほしい。 【社会性の育成】評価 【 A 】 自己肯定感・社会性に関する質問に対し、若干目標値を下回ったが、育ってきた環境が関わっているのではないかと推測される。しかしながら、28年ぶりに修学旅行を実施するなど良好な関係性が築けている。定時制の活躍が、地域や社会、中学生の目標になれるように情報発信も願いたい。 【チーム学校】 評価 【 A 】 学校の魅力化というテーマに教職員が一丸となって取り組み成果を収めていることは素晴らしい。多様なニーズのために、さらに何をすればよいかを教職員がチームとなって、生徒の意見を取り入れつつ議論を進めてほしい。本当に、生徒とともに先生方の努力が見られます。								
		【アドミッション・ポリシー】(入学受入れ方針)					【カリキュラム・ポリシー】(教育課程の編成・実施方針)														
スクール・ポリシー		感性が豊かで協調性があり、新たな挑戦の場としてスタートが切れる人物で、地場産業での貢献を目指す生徒			・基礎力向上・定着を目指し、組織的に到達目標を共有 ・学習習慣や授業規律の確立へ向けた重点的な指導 ・特別活動の充実による生徒間の連帯感を図り、学び合う活動の充実 ・進路活動(キャリアノートや講話)による職業人生の構想・設計 ・定時制給食で心身の健康を保ち、学びに対する姿勢を育成																
		【グラデュエーション・ポリシー】(育成を目指す生徒の資質・能力)																			
		観点別評価のそれぞれの能力の成長と共に、人と人との関わりを大切にし、目標に向かってやり遂げる力																			

(評価)A:目標を十分に達成 B:目標をほぼ達成 C:やや不十分 D:不十分																
		育成を目指す資質・能力【P】		現状と目標(評価指標)		具体的な取組内容【D】		中間評価【C】		中間評価後の取組内容【P・D】		年度末評価【C】		見直しのポイント【A】		
重点項目	学力的向上		★確かな学力 ・基礎的・基本的・発展的な知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力等 ・学びに向かう力、人間性等 ★将来を見通した学び ・将来にわたって学び続ける意欲(学習習慣を含む)		①資格検定試験 (1)合格率(取得者数/受験者数)70%以上(R5:70%) (2)取得率(取得延べ人数/生徒総数)60%以上(R5:55%) ②生徒アンケート(肯定的回答) 「学校の授業は、よく理解できている」80%以上(R5:93%)		①基礎知識・技能の定着を図り、資格・検定へ積極的に挑戦 ②授業理解 (1)生徒の実態に沿った副教材(プリントやICT機器)の作成・活用 (2)全校一斉基礎学力試験の実施(年5回)と振り返り指導		B ①資格検定試験 ほとんどの資格が、年末の試験実施のため、10月の中間評価なし ②生徒アンケート(肯定的回答) 「学校の授業は、よく理解できている」82%(目標80%)		①電気工事士1・2種(12月)、土木施工管理技士補2級(10月)、建築・電気施工管理技士補2級(11月)等 ②授業理解 (1)公開授業(9月～12月) (2)全校一斉基礎学力試験(11月・1月)		A ①資格検定試験 (1)合格率75%(目標70%) (2)取得率78%(目標60%) ②生徒アンケート(肯定的回答) 「学校の授業は、よく理解できている」86%(目標値:80%)		例年に渡り、教員定数の削減や学力差が本校の課題となっているが、次年度以降も教職員一同で横断的な教科指導を推進し、自主性を高めて成果を収めたい	
	社会性の育成		★豊かな心 ・自己存在感、自己有用感、コミュニケーション力、自己決定力等 ★多様性・包摂性 ・キャリアデザイン力(やりぬく力) ・他者への思いやり(地域・社会貢献、ボランティア活動等も含む)		★生徒アンケート(肯定的回答) ①自己肯定感・社会性(基礎)に関する質問70%以上(R5:62%) ②社会性(コミュニケーション能力・キャリアデザイン能力)に関する質問平均値75%以上(R5:78%)		①つながり教育…ホームデイ(縦断的な人間関係づくり)、ホームマッチ(横断的な人間関係づくり)、校門指導(挨拶運動)等 ②キャリア教育…キャリアノートの活用、同窓生によるキャリア講話、進路通信 等		B ★生徒アンケート(肯定的回答) ①自己肯定感・社会性(基礎)に関する質問67%(目標70%) ②社会性(コミュニケーション能力・キャリアデザイン能力)に関する質問83%(目標75%)		①ホームデイ(10月)、2・3・4年生修学旅行(12月)、校門指導(毎日)等 ②キャリア講話(10月)、キャリア教育LHR(1月)等		B ★生徒アンケート(肯定的回答) ①自己肯定感・社会性(基礎)に関する質問67%(目標70%) ②社会性(コミュニケーション能力・キャリアデザイン能力)に関する質問82%(目標75%)		地域貢献活動やボランティア活動への参加率が低かったので、生徒支援部や生徒会とも協力し、参加の促進を図る	
取組項目	地域協働学習		【取組のねらい】 ・生徒の社会的自立・社会参画に必要な資質・能力の育成 ・地域・関係機関との連携を通じた生徒の育成と教員の指導力向上		①生徒アンケート(肯定的回答) 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」75%以上(R5:68%) ②校外(地域等)連携事業の実施回数5回以上		①および② (1)地域イベントにおけるものづくり体験教室の運営 (2)外部講師招へい事業 (3)産業教育共同研究(略:産共研) (4)防災教育事業 等		B ①生徒アンケート(肯定的回答) 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」67%(目標75%) ②校外(地域等)連携事業の実施回数0回(目標5回以上)		①および② (1)こうち建設フェスタ(11月) (2)キャリア講話(10月)性に関する講話(11月) (3)産共研:土木科(11月～) (4)防災体験事業(1月) 等		B ①生徒アンケート(肯定的回答) 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」64%(目標75%) ②校外(地域等)連携事業の実施回数10回(目標5回)		①学年を追うごとに肯定的な回答が増しているので、目標達成へ向け事業の充実を図る	
	教科横断的教育		【取組のねらい】 ・学習の基盤となる言語能力や情報活用能力の育成 ・各教科の学びを実社会での課題発見や解決に結び付ける力の育成		★生徒アンケート(肯定的回答) 「学校の授業では、学んだ知識をもとに自ら考え、まとめたり、話し合ったり、発表したりする機会がある」70%(R5:53%)		①課題研究におけるSDGsと専門的学びを融合した製品の開発や技能習得 ②各教科における成果の発表(表現)活動		B ★生徒アンケート(肯定的回答) 「学校の授業では、学んだ知識をもとに自ら考え、まとめたり、話し合ったり、発表したりする機会がある」65%(目標70%)		①課題研究における探究心の成長へ向けた学習の継続(4年生) ②全ての工業科における課題研究発表会(1月)		C ★生徒アンケート(肯定的回答) 「学校の授業では、学んだ知識をもとに自ら考え、まとめたり、話し合ったり、発表したりする機会がある」52%(目標70%)		1・2年生の肯定的な回答率が低かったので、各教科での討論・表現活動の充実を図る	

		取組のねらい【P】		現状と目標(評価指標)		具体的な取組内容【D】		中間評価【C】		中間評価後の取組内容【P・D】		年度末評価【C】		見直しのポイント【A】		
チーム学校	学校の振興		★学校の魅力化 ・多様なニーズへの向けた工業教育の実践 ・培ってきた経験をもとに、新たなスキルを身に付ける		①実社会で必要な国家資格の取得合格率60%(R5:67% 18/27) ②スキルを育てる取組 各種コンテストへの参加及び入賞(R5:全国規模の大会で入賞2回)		①難易度が高い国家資格へ向けた指導体制の充実(補習等) ②各専門科の魅力を活かした各種コンテスト等への挑戦		B ①国家資格検定試験合格率 ほとんどの資格が、年末の試験実施のため、10月の中間評価なし ②全国規模のコンテストへの参加11月に出場予定		①電気工事士1・2種(12月)、土木施工管理技士補2級(10月)、建築・電気施工管理技士補2級(11月)等 ②建設技術展2024近畿 橋梁模型製作コンテスト(11月)		A ①実社会で必要な国家資格の合格率62%(目標60%) ②スキルを育てる取組:建設技術展2024近畿橋梁模型コンテスト入賞(会場製作:最優秀賞、学生部門:最優秀賞 他)		資格取得へ向けた補習体制の充実を図るとともに、ものづくりに関する各種競技大会にも挑戦し、本校の魅力を発信したい	
	不祥事防止		★教職員の倫理観の堅持 ・不祥事防止対策の徹底 ・よりよい職場風土づくり ・教職員のメンタルヘルス ・不祥事発生時の適切な対応		★不祥事数R6:なし(過去3年の重大な不祥事件数2) ①不祥事に関する校内研修の実施回数R6:4回(R5:4回) ②不祥事防止委員会R6:4回		①不祥事根絶へ向けた研修(個人・集団としての倫理観の向上) ②不祥事防止委員会の設置(運営委員会+管理職)		A ★不祥事数R6:0件 ①不祥事に関する校内研修の実施回数R6:3回、不祥事に関する情報共有(毎月) ②不祥事防止委員会協議R6:3回		①不祥事根絶へ向けた研修(隔月) ②不祥事防止委員会協議(隔月)		A ★不祥事数R6:0件(1/31現在) ①不祥事に関する校内研修の実施回数R6:5回、服務通信8回、注意喚起30回 ②不祥事防止委員会協議R6:4回		取組の回数が多くなっているので、内容を整理しつつ充実を図る	
	働き方改革		★長時間勤務の解消 ・業務の平準化、および教員数の減員への対応		①長時間勤務者(月45時間以上)数R6:0名(R5:1名) ②職種(時間短縮勤務等)に応じた組織の構築		①および② (1)部活動数の見直し (2)ホーム担任数の改編 (3)校務分掌の統合		B ①長時間勤務者(月45時間以上)数 R6:2名…【要因】ものづくり四国・全国大会における役員業務等 ②時間短縮勤務職員への配慮:あり(ホーム担任から除く 等)		①および② (1)部活動数の検討 (2)ホーム担任数の検討 (3)校務分掌の業務整理		B ①長時間勤務者(月45時間以上)数R6:2名…【要因】ものづくり四国・全国大会における役員業務(課題作成)等 ②時間短縮勤務職員への配慮:あり(ホーム担任から除く 等)		全国大会の課題(機密文書)作成担当者のため不可避であるので、他の業務を調整し対応したい	